

# 事務事業評価表

## 1. 基本事項

作成日 令和02年07月13日(月)

事務事業		印鑑登録事務		担当課	市民課	担当係	市民係	管理番号	3105	
第2次総合計画				事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務	→ 対象拡大 サービス拡充	有□ 有□	深谷市印鑑条例、深谷市印鑑条例施行規則、深谷市手数料条例	
	行計 政画 分施 野策 別名	大項目	200006	みんなで創る協働のまち（協働・行政経営）	根拠法令 個別計画 等					
		中項目	200002	将来に向けた持続可能なまちづくり						
	小項目	200003	行財政運営の推進							
事業概要		実印としての登録申請に基づき、印影を登録し、また必要なときに印鑑登録証明書を交付するものである。								
目的 ※何のために		実印として登録し、公証力を生じさせる。								
対象 ※誰・何を対象に		市民の方								
手段 ※どのように		申請により、実印としての印影を台帳に登録する。								
成果 ※何を求めるか		申請に対し、正確かつ効率的に印鑑登録及び証明書交付を行う。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 市職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO 民間団体 <input type="checkbox"/> その他（                      ）								
事務事業を構成する 予算事業		会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
			00		00		00			0
			00		00		00			0
			00		00		00			0
			00		00		00			0
			00		00		00			0
本事業の 主な業務		・ 印鑑登録受付処理				・ 印鑑登録職権登録抹消処理				
		・ 印鑑登録証明書交付				・ 成年被後見人登記通知受付処理				
		・ 印鑑登録（照会）（回答）受付処理				・				
		・ 印鑑登録証明書交付指定申請受付処理				・				
		・ 印鑑登録（廃止・亡失）受付処理				・				
		・ 印鑑登録職権修正処理				・				

## 2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区 分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画							
事業費	予算（現額）	0	0	0	0	0	
	決算額	0	0	0	0	0	
	財源内訳						
	国支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	他特定財源	0	0	0	0	0	
	一般財源	0	0	0	0	0	
人件費	従事職員数(人)	1.72	1.67	2.03	2.43	2.43	
	人件費相当試算 ※1	13,379,880	12,995,940	16,453,150	19,799,640	19,799,640	
		0	0	0	0	0	
(総事業費試算)		13,379,880	12,995,940	16,453,150	19,799,640	19,799,640	

※1 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

# 事務事業評価表

## 3. 評価指標

グラフ表示	区分	指標名	目標値 実績値	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
		年度別目標値の設定根拠									
		実績値の出所・算出式									
	活動指標 1	印鑑登録届の処理件数	目標値 実績値	件	3,292.00	3,337.00	3,121.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		目標値を算出する性質のものでないため設定していない							
		印鑑登録者数調べ									
	活動指標 2	印鑑証明の交付件数	目標値 実績値	件	23,814.00	22,916.00	20,770.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		目標値を算出する性質のものでないため設定していない							
		手数料及び使用料集計表									
	成果指標 1	公民館での証明交付件数	目標値 実績値	件	4,350.00	4,674.00	4,359.00	0.00	0.00	0.00	
年度別目標値の設定根拠		目標値を算出する性質のものでないため設定していない									
成果指標 2	証明の交付誤りによる苦情件数	目標値 実績値	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	年度別目標値の設定根拠		苦情がないことが適正なため目標値は0を設定している								
	業務安定システム事務処理対応表										
		目標値 実績値		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00		
	年度別目標値の設定根拠										
		目標値 実績値		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00		
	年度別目標値の設定根拠										

## 4. 観点別評価 (A: 目標値どおり (以上) B: ほぼ目標値どおり C: 目標未達成 - : 目標値の設定がないもの)

活動 (意図した活動を行っているか)		目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 印鑑登録届の処理件数は、3,121件で前年度と比較して216件(6.5%減)減少した。印鑑証明交付件数は、20,770件で前年度と比較して2,146件(9.4%減)減少した。公民館での証明交付件数は、4,359件で前年度と比較して315件(6.7%減)減少した。
成果 (意図した成果が上がっているか)	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 印鑑証明書の交付誤りによる苦情は発生しなかったため、A評価とする。
効率性 (効率的に事務を行っているか)		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明
		評価者 市民係長 菊池 淳也

## 5. 前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	・正確な印鑑登録及び証明交付ができるように、職員研修等を実施し職員のスキルアップを図る。 ・新庁舎の移転に伴い、市民の負担の軽減と窓口の効率化を図るため、これまでの業務フローに囚われない窓口業務の根本的な改革が求められる。そのため、新庁舎の事務と市民の動線に合わせた窓口事務のシステム化・自動化を進める。
達成状況 及び その効果	・正確な印鑑登録及び証明交付ができるように、職員研修等を実施し職員のスキルアップを行った。 ・新庁舎の移転に伴い、市民の負担の軽減と窓口の効率化を図るため、これまでの業務フローに囚われない窓口業務の根本的な改革が求められることから、新庁舎の事務と市民の動線に合わせた窓口事務のシステム化・自動化を進めた。

# 事務事業評価表

## 6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	印鑑登録事務	担当課	市民課	担当係	市民係	管理番号	3105
<div><div><input type="checkbox"/> ① 現状のまま継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ② 見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ③ 拡充・重点化（コスト投入）</div><div><input type="checkbox"/> ④ 目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤ 廃止を検討</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div>			評価の内容説明				
上記を実施するための具体的な取り組み内容は？			印鑑登録や印鑑証明の交付申請に対し、正確に処理を行うことができた。 新庁舎に向けた窓口事務の効率化・自動化のシステム等の構築を進めることができた。				
			評価者	市民課長 真下 智己			

## 7. 改善改革プランと今後の課題

改善・改革案	市民ニーズの多様化や、マイナンバーカードの普及促進等窓口事務も年々変化している状況である。そのため、今後更に厳しさを増す財政状況や、職員負担の軽減を図るため、窓口事務の改善（システム化）を考えていく必要がある。
--------	---

## 8. 今後の課題（年度別計画等により実施する取り組み等）

今後の課題	「窓口業務支援システム」を適切に運用することにより、窓口業務の委託等調査研究を進める必要がある。
-------	--

## 9. 評価指標グラフ

